
板橋区文化芸術に関する意識調査報告書

概要版

令和元年 12 月

板 橋 区

目 次

調査概要	1
I. 調査の目的	1
II. 調査実施の概要	1
調査結果	3
1. 調査回答者の属性	3
2. 調査結果の主な項目	5
(1) 直近1年間の文化芸術鑑賞率	5
(2) 文化芸術鑑賞ジャンル	5
(3) 文化芸術鑑賞をしなかった理由	6
(4) 板橋区に実施してほしい文化芸術公演等	7
(5) 直近1年間の文化芸術活動実施率	7
(6) 文化芸術活動ジャンル	8
(7) 文化芸術活動の練習・創作を行う上で生じる問題	9
(8) 文化芸術活動の発表・展示を行う上で生じる問題	9
(9) 文化芸術活動をしなかった理由	10
(10) 板橋区の伝統芸能・郷土芸能	11
(11) 板橋区の文化財	12
(12) 文化芸術に関する情報の入手方法	13
(13) 板橋区での文化芸術に関する必要な情報	14
(14) 板橋区での文化芸術に関する情報入手の満足度	14
(15) 板橋区の文化の特徴	15
(16) 板橋区の文化施設	16
(17) 板橋区の文化施設の利用促進のために重要な取組	18
(18) 子どもの文化芸術活動促進に必要な取組	19
(19) 板橋区における文化芸術施策の満足度	20
(20) 板橋区の文化芸術振興のために区が重点的に取り組むべきこと	20

調査概要

I. 調査の目的

板橋区では、平成 28 年 3 月に「板橋区文化芸術振興基本計画 2020」を策定し、目指す将来像を「歴史や伝統を大切にしながら、多様な文化芸術活動が活発に行われ、楽しみ、つながり、創造するまち」と定め、心豊かな区民生活の実現を目指して文化芸術施策を推進している。

本調査は、区民、区内中学生及び他区住民の文化芸術活動に関する実態や意識などを把握し、今後の文化芸術施策に調査結果を役立てることを目的に実施した。

II. 調査実施の概要

区内の 18 歳以上 2,000 人、区内 5 地域から 1 校ずつ中学 2 年生 681 人を対象に、文化芸術活動の実態や意識などについて郵送によるアンケート調査、板橋区以外の都内 22 区住民 600 人を対象に、文化芸術活動の実態や意識などについて WEB アンケート調査を実施した。

(1) 調査期間

区 民:令和元年 9 月 20 日(金)～10 月 15 日(火)[26 日間]

区内中学生:令和元年 9 月 25 日(水)～10 月 15 日(火)[21 日間]

他 区 住 民:令和元年 11 月 23 日(土)～11 月 24 日(日)[2 日間]

(2) 調査対象と抽出方法

区民	調査対象	区内に居住する 18 歳以上 2,000 人
	抽出方法	住民基本台帳から単純無作為抽出
	調査方法	郵送調査(郵送配付－郵送回収)
	設問数	全 28 問
区内中学生	調査対象	区内の中学校に在学する中学 2 年生 681 人
	抽出方法	板橋、常盤台、志村、赤塚、高島平の 5 地域から各 1 校を選定
	調査方法	各学校を通じて配付、回収
	設問数	全 18 問
他区住民	調査対象	板橋区以外の都内 22 区に居住する 18 歳以上 600 人
	抽出方法	外部モニターより無作為抽出
	調査方法	インターネットを通じてアンケートの回答を依頼
	設問数	全 12 問

※居住地域区分

1. 板橋地域	板橋 1～4 丁目、稲荷台、大山町、大山金井町、大山西町、大山東町、加賀 1～2 丁目、熊野町、幸町、栄町、中板橋、仲宿、仲町、中丸町、氷川町、富士見町、双葉町、本町、南町、大和町、弥生町
2. 常盤台地域	大谷口 1～2 丁目、大谷口上町、大谷口北町、上板橋 1～3 丁目、小茂根 1～5 丁目、桜川 1～3 丁目、東新町 1～2 丁目、常盤台 1～4 丁目、東山町、南常盤台 1～2 丁目、向原 1～3 丁目
3. 志村地域	小豆沢 1～4 丁目、泉町、大原町、坂下 1 丁目[27 番・29 番～41 番を除く]、清水町、志村 1～3 丁目、中台 1～3 丁目、西台 1 丁目・西台 2 丁目[30 番 5 号～16 号・31 番～40 番を除く]・西台 3 丁目[47 番・55 番～57 番を除く]・西台 4 丁目、蓮沼町、東坂下 1 丁目、前野町 1～6 丁目、宮本町、若木 1～3 丁目
4. 赤塚地域	赤塚 1～8 丁目、赤塚新町 1～3 丁目、大門、徳丸 1～8 丁目、成増 1～5 丁目、西台 2 丁目[30 番 5 号～16 号・31 番～40 番]・西台 3 丁目[47 番・55 番～57 番]、三園 1 丁目、四葉 1～2 丁目
5. 高島平地域	相生町、坂下 1 丁目[27 番・29 番～41 番]・坂下 2～3 丁目、新河岸 1～3 丁目、高島平 1～9 丁目、蓮根 1～3 丁目、東坂下 2 丁目、舟渡 1～4 丁目、三園 2 丁目

(3)回収結果

区民	配付数(票)	2,000 票	
	不達数(票)	5 票	宛先不明分
	有効配付数(票)	1,995 票	(配付数)-(不達数)
	回収数(票)	700 票	
	無記入・無回答数(票)	1 票	
	有効回収数(票)	699 票	(回収数)-(無記入・無回答数)
	有効回収率(%)	35.0%	(有効回収数)÷(有効配付数)×100 ※小数点以下第二位を四捨五入
区内中学生	配付数(票)	681 票	
	不達数(票)	0 票	
	有効配付数(票)	681 票	(配付数)-(不達数)
	回収数(票)	643 票	
	無記入・無回答数(票)	18 票	
	有効回収数(票)	625 票	(回収数)-(無記入・無回答数)
	有効回収率(%)	91.8%	(有効回収数)÷(有効配付数)×100 ※小数点以下第二位を四捨五入
他区住民	配付数(票)	600 票	
	不達数(票)	0 票	
	有効配付数(票)	600 票	(配付数)-(不達数)
	回収数(票)	600 票	
	無記入・無回答数(票)	0 票	
	有効回収数(票)	600 票	(回収数)-(無記入・無回答数)
	有効回収率(%)	100.0%	(有効回収数)÷(有効配付数)×100 ※小数点以下第二位を四捨五入

調査結果

1. 調査回答者の属性

(1) 区民(問 1~3)

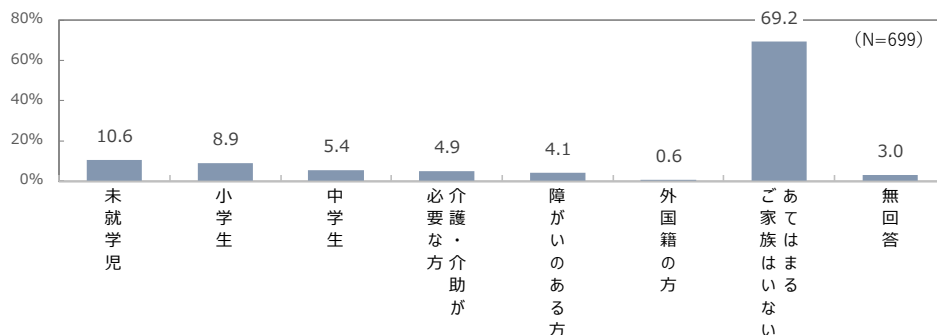
属性 (区民)



【要介護・介助、障がい、外国籍の有無】

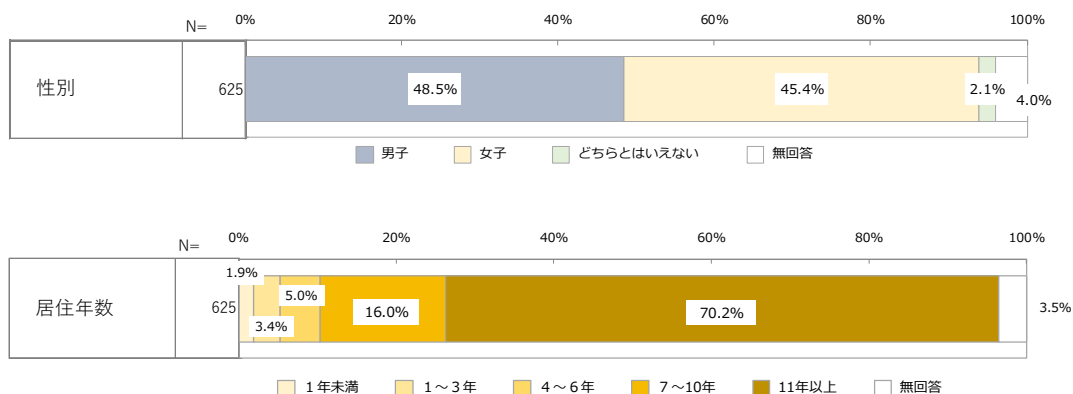


【同居家族】



(2)区内中学生(問1)

属性 (区内中学生)



(3)他区住民

属性 (他区住民)

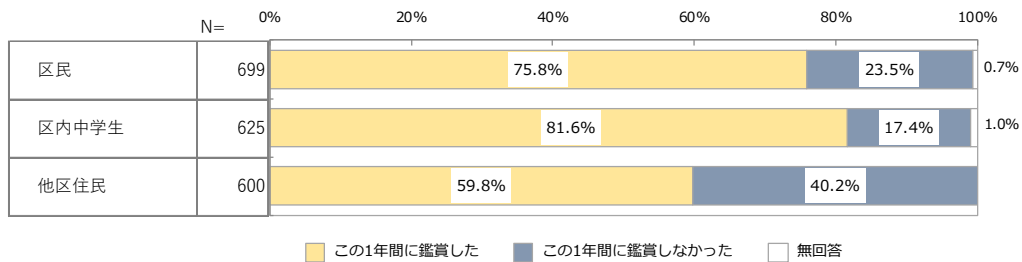


2. 調査結果の主な項目

(1) 直近1年間の文化芸術鑑賞率(区民:問4、区内中学生:問2、他区住民:問1)

区民の文化芸術鑑賞率は75.8%、区内中学生は81.6%、他区住民は59.8%となっており、板橋区の文化芸術鑑賞率は15ポイント以上高いという結果となっている。

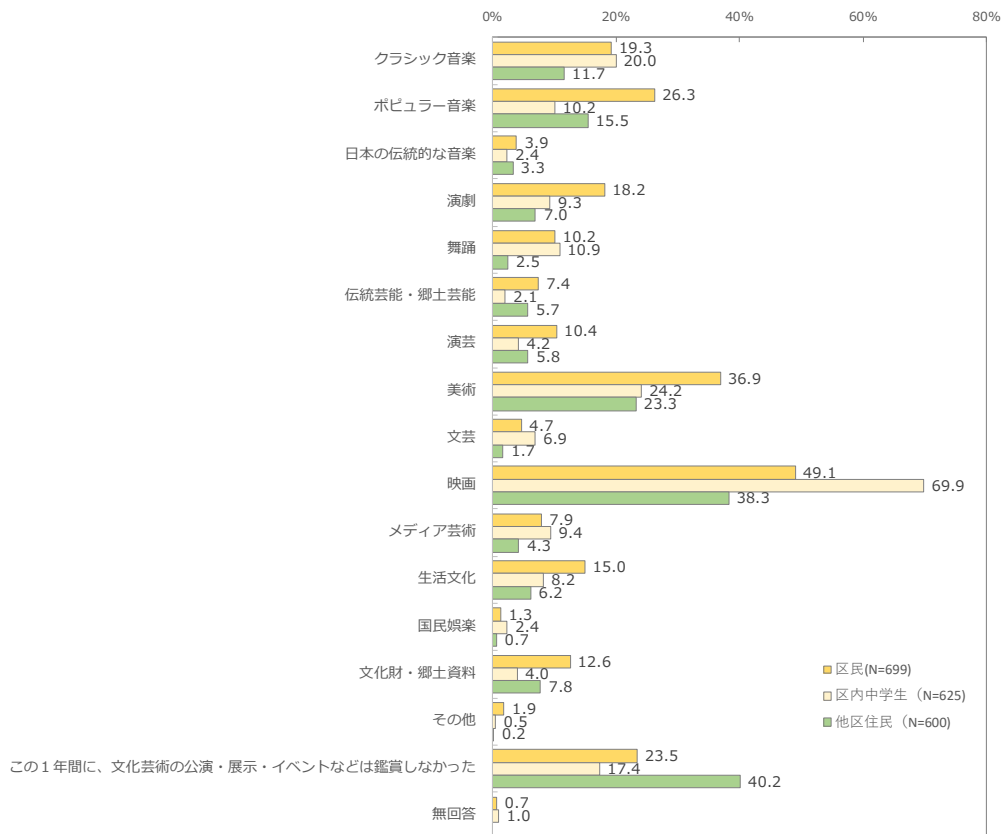
直近1年間の文化芸術鑑賞率



(2) 文化芸術鑑賞ジャンル(区民:問4、区内中学生:問2、他区住民:問1)

区民・区内中学生ともに、「映画」(49.1%、69.9%)が最も多く、2番目が「美術」(36.9%、24.2%)である。3番目に多いのは、区民が「ポピュラー音楽」(26.3%)、区内中学生が「クラシック音楽」(20.0%)となっている。他区住民と比べると、区民は全体的に鑑賞率が高い傾向にあるが、「ポピュラー音楽」「演劇」「美術」「映画」は特に高く、10ポイント以上の差がある。

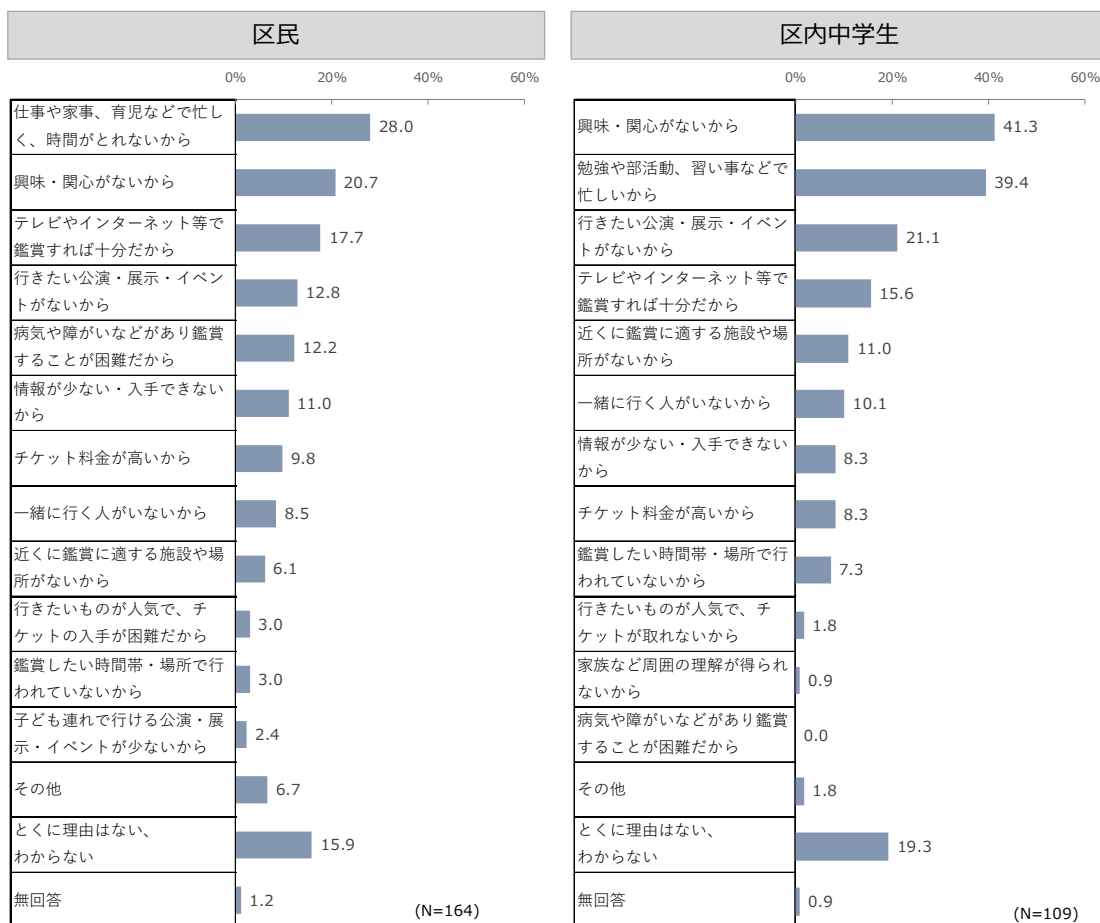
文化芸術鑑賞ジャンル



(3)文化芸術鑑賞をしなかった理由(区民:問6、区内中学生:問3)

文化芸術鑑賞をしなかった理由は、区民・区内中学生ともに仕事や家事、勉強や部活動など、日常生活が多忙であることを理由に挙げる割合が高い(区民28.0%、区内中学生39.4%)。区内中学生は「興味・関心がないから」(41.3%)の割合も高い。

文化芸術鑑賞をしなかった理由

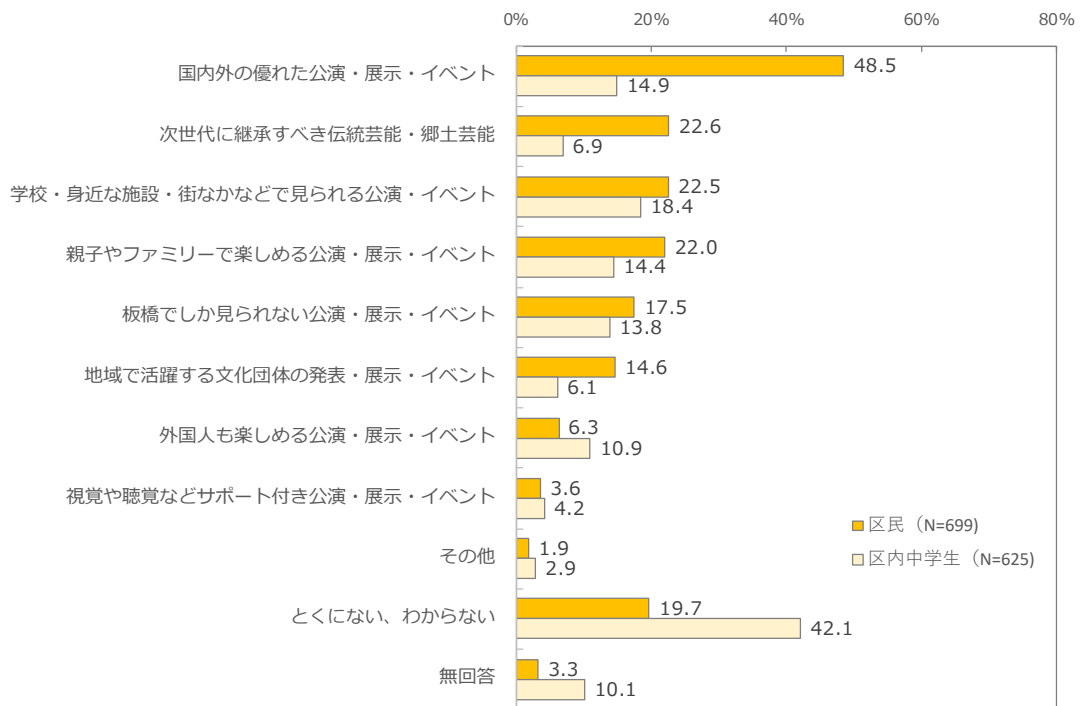


(4) 板橋区に実施してほしい文化芸術公演等(区民:問7、区内中学生:問4)

区民は「国内外の優れた公演・展示・イベント」(48.5%)が最も多く、約半数が要望している。次いで、「次世代に継承すべき伝統芸能・郷土芸能」(22.6%)、「学校・身近な施設・街なかなどで見られる公演・イベント」(22.5%)、「親子やファミリーで楽しめる公演・展示・イベント」(22.0%)と続く。

区内中学生は、「学校・身近な施設・街なかなどで見られる公演・イベント」(18.4%)、「国内外の優れた公演・展示・イベント」(14.9%)、「親子やファミリーで楽しめる公演・展示・イベント」(14.4%)の順番となっている。

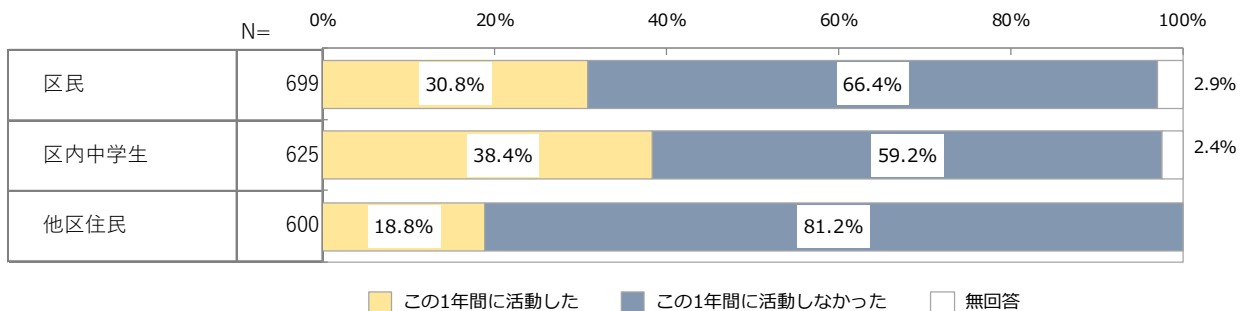
板橋区に実施してほしい文化芸術公演等



(5) 直近1年間の文化芸術活動実施率(区民:問8、区内中学生:問5、他区住民:問2)

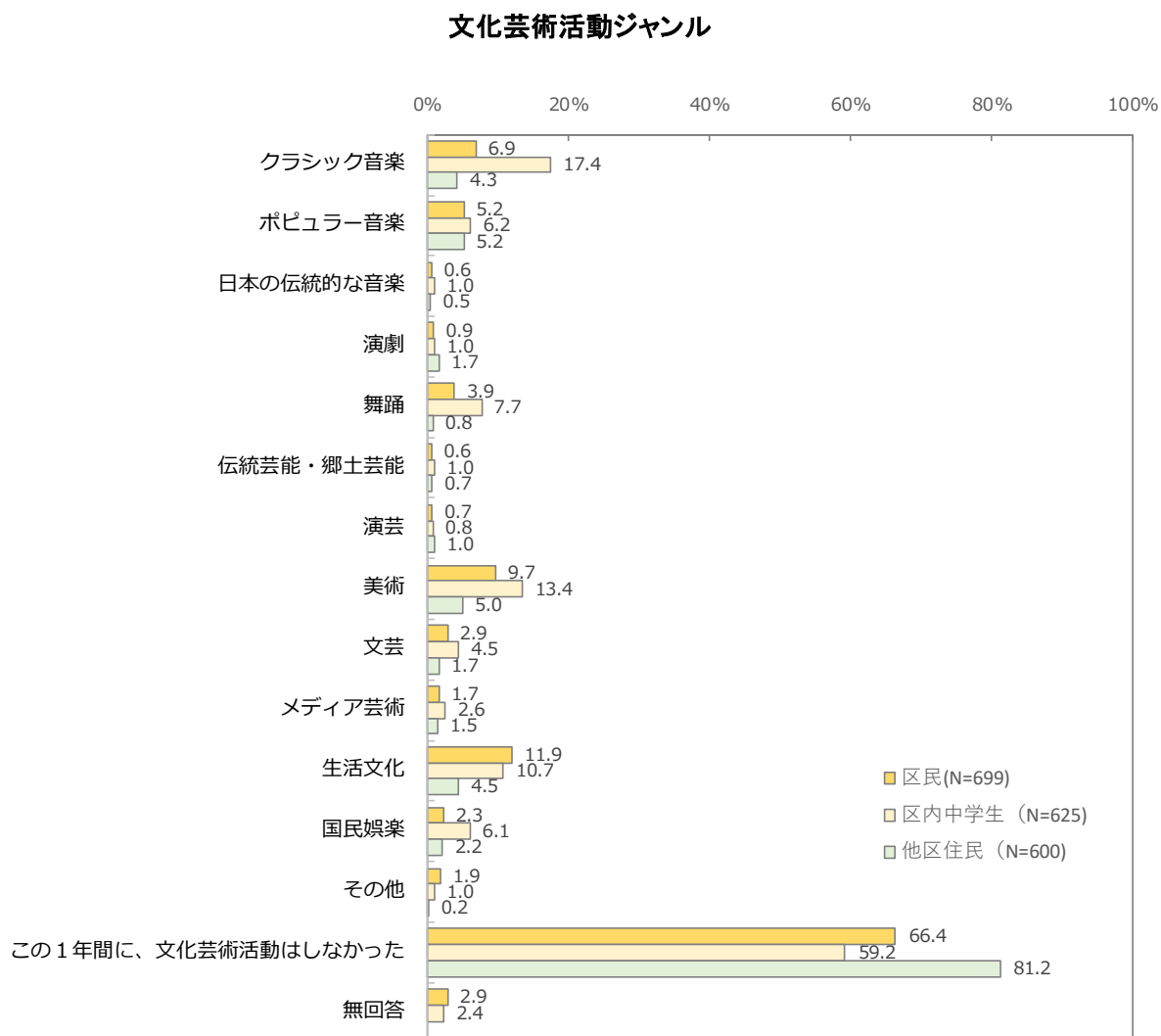
区民の文化芸術活動実施率は30.8%、区内中学生は38.4%。一方、他区住民は18.8%となっており、板橋区の区民・区内中学生ともに文化芸術活動実施率は他区住民より10ポイント以上高い結果となっている。

直近1年間の文化芸術活動実施率



(6)文化芸術活動ジャンル(区民:問 8、区内中学生:問 5、他区住民:問 2)

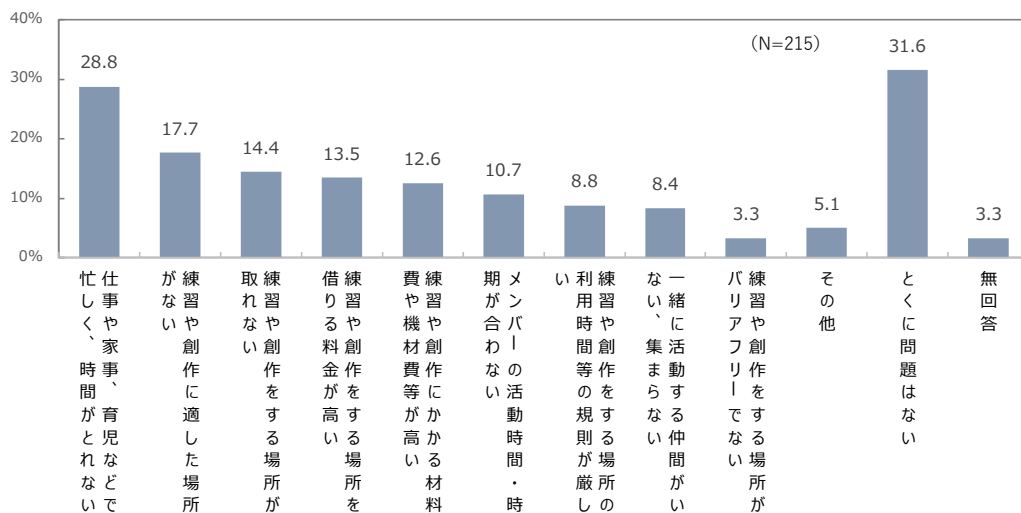
区民は「生活文化」(11.9%)が最も多く、以下「美術」(9.7%)、「クラシック音楽」(6.9%)と続き、区内中学生は「クラシック音楽」(17.4%)が最も多く、以下「美術」(13.4%)、「生活文化」(10.7%)の順となっている。区民・区内中学生ともに「クラシック音楽」、「美術」、「生活文化」が上位を占めている。



(7)文化芸術活動の練習・創作を行う上で生じる問題(区民:問 11)

文化芸術活動の練習・創作を行う上で生じる問題としては、「仕事や家事、育児などで忙しく、時間がとれない」(28.8%)とする回答が最も多い。

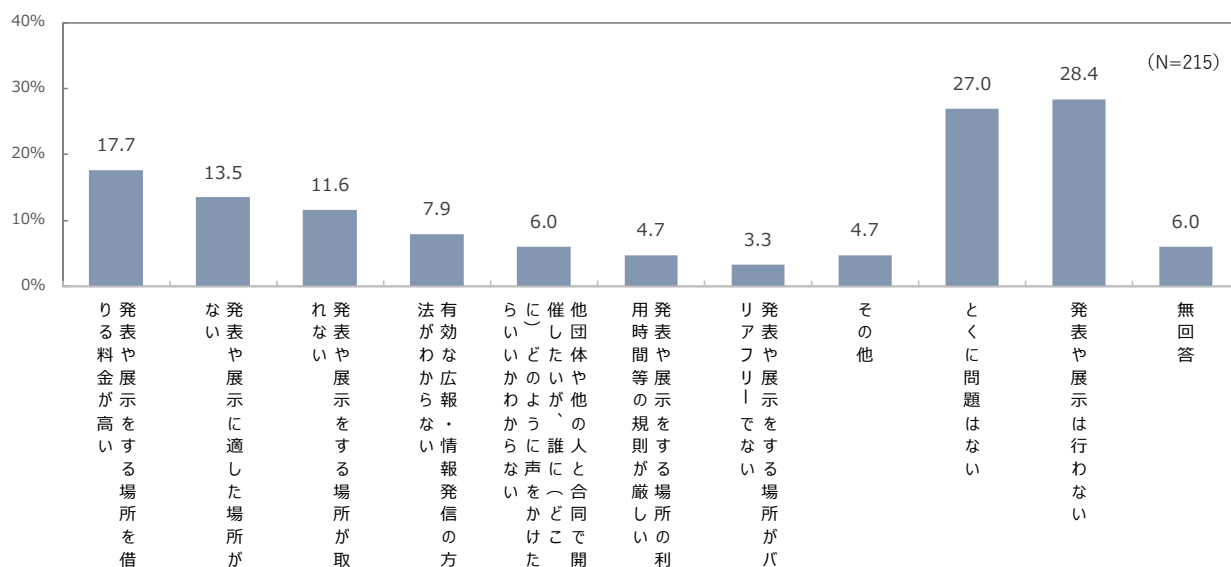
文化芸術活動の練習・創作を行う上で生じる問題



(8)文化芸術活動の発表・展示を行う上で生じる問題(区民:問 12)

文化芸術活動の発表・展示を行う上で生じる問題としては、「発表や展示をする場所を借りる料が高い」(17.7%)とする回答が最も多い。

文化芸術活動の発表・展示を行う上で生じる問題

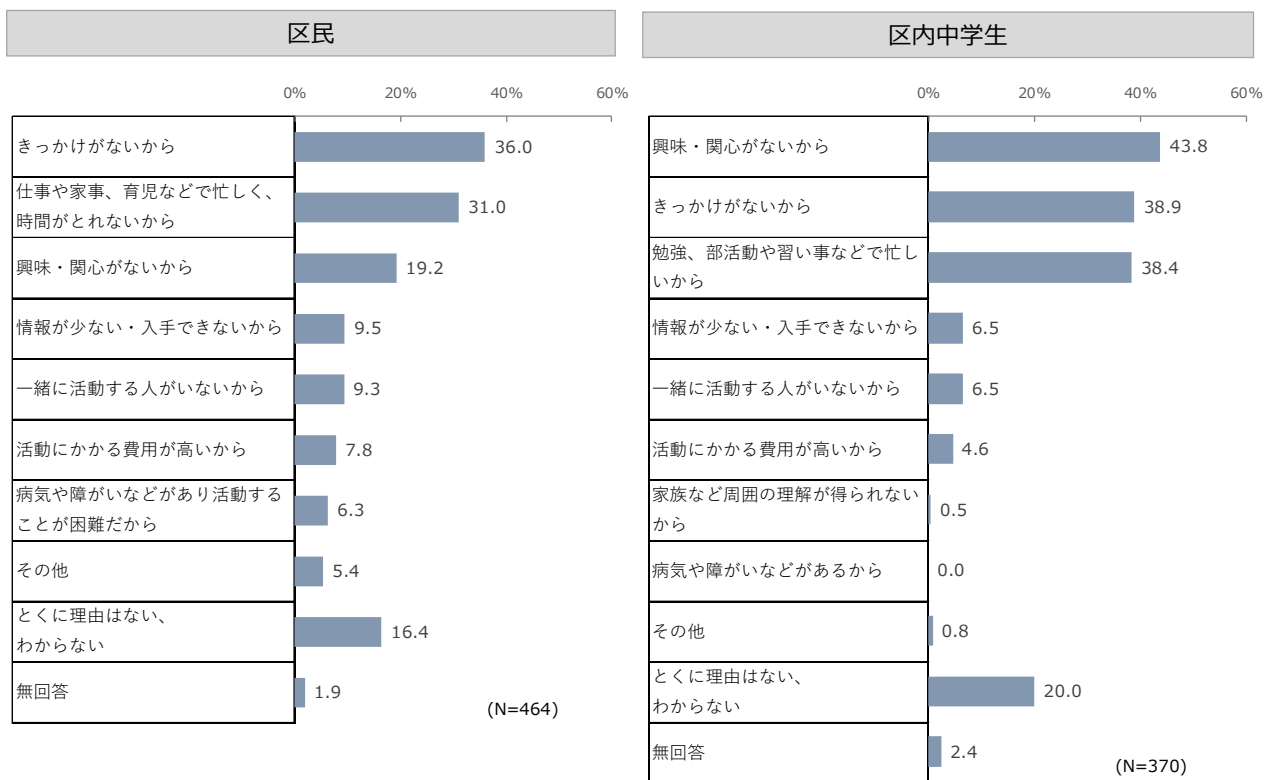


(9)文化芸術活動をしなかった理由(区民:問 13、区内中学生:問 9)

区民は「きっかけがないから」(36.0%)、「仕事や家事、育児などで忙しく時間がとれないから」(31.0%)、「興味・関心がないから」(19.2%)が多い理由となっている。

区内中学生は「興味・関心がないから」(43.8%)、「きっかけがないから」(38.9%)、「勉強、部活動や習い事などで忙しいから」(38.4%)が上位を占める。

文化芸術活動をしなかった理由



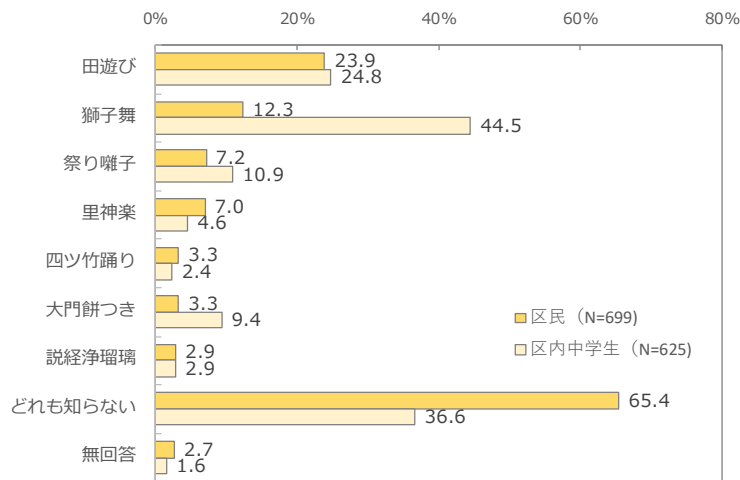
(10)板橋区の伝統芸能・郷土芸能

①認知度(区民:問 14、区内中学生:問 11)

「どれも知らない」と「無回答」を除くと、板橋区の伝統芸能・郷土芸能のいずれかを知っている人は区民が31.9%、区内中学生が61.8%であった。

区民・区内中学生ともに「田遊び」(区民 23.9%、区内中学生 24.8%)と「獅子舞」(区民 12.3%、区内中学生 44.5%)の認知度が高い。

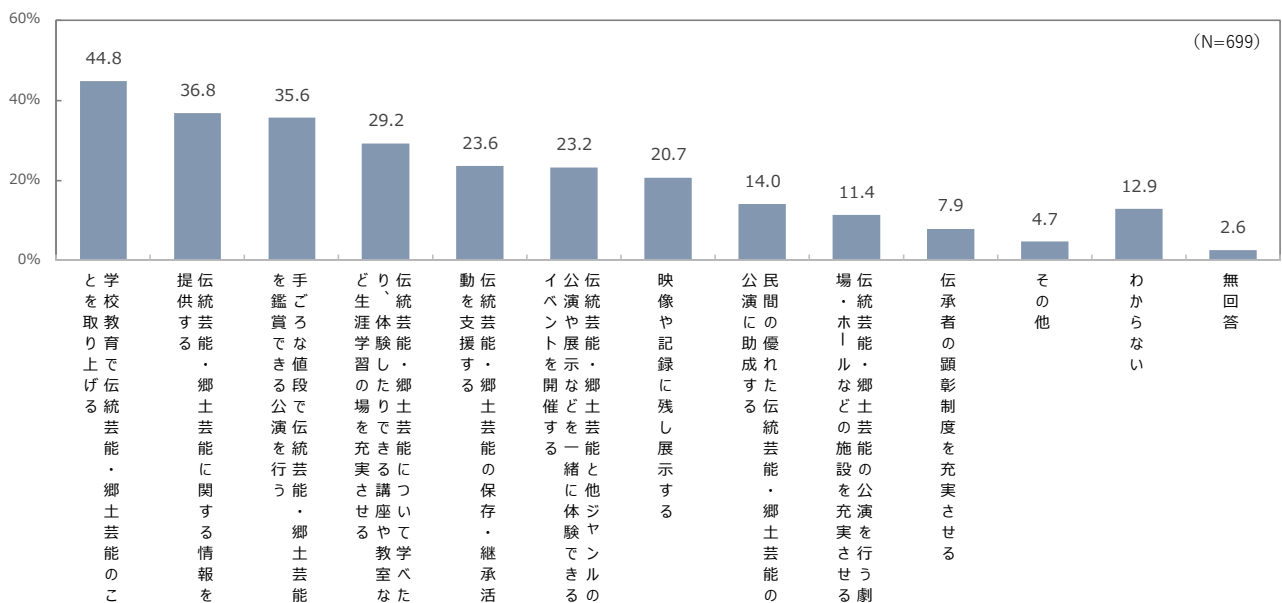
板橋区の伝統芸能・郷土芸能の認知度



②保存・継承・周知に必要なもの(区民:問 15)

板橋区の伝統芸能・郷土芸能の保存・継承・周知に必要なもので最も多いものは「学校教育で伝統芸能・郷土芸能のことで取り上げる」(44.8%)、次いで「伝統芸能・郷土芸能に関する情報を提供する」(36.8%)、「手ごろな値段で伝統芸能・郷土芸能を鑑賞できる公演を行う」(35.6%)と続く。

板橋区の伝統芸能・郷土芸能の保存・継承・周知に必要なもの



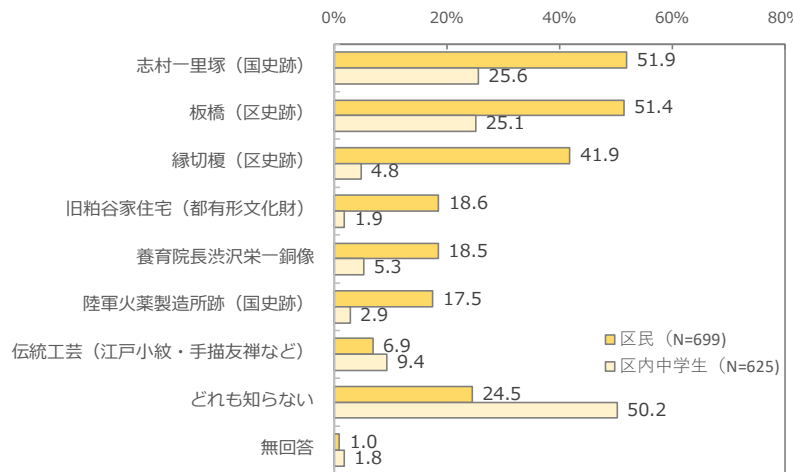
(11)板橋区の文化財

①認知度(区民:問 16、区内中学生:問 12)

「どれも知らない」と「無回答」を除くと、板橋区の文化財のいずれかを知っている人は区民が 74.5%、区内中学生が 48.0%であった。

区民・区内中学生ともに「志村一里塚(国史跡)」(区民 51.9%、区内中学生 25.6%)と「板橋(区史跡)」(区民 51.4%、区内中学生 25.1%)の認知度が高い。区民は「縁切榎(区史跡)」(41.9%)の認知度も4割を超えている。

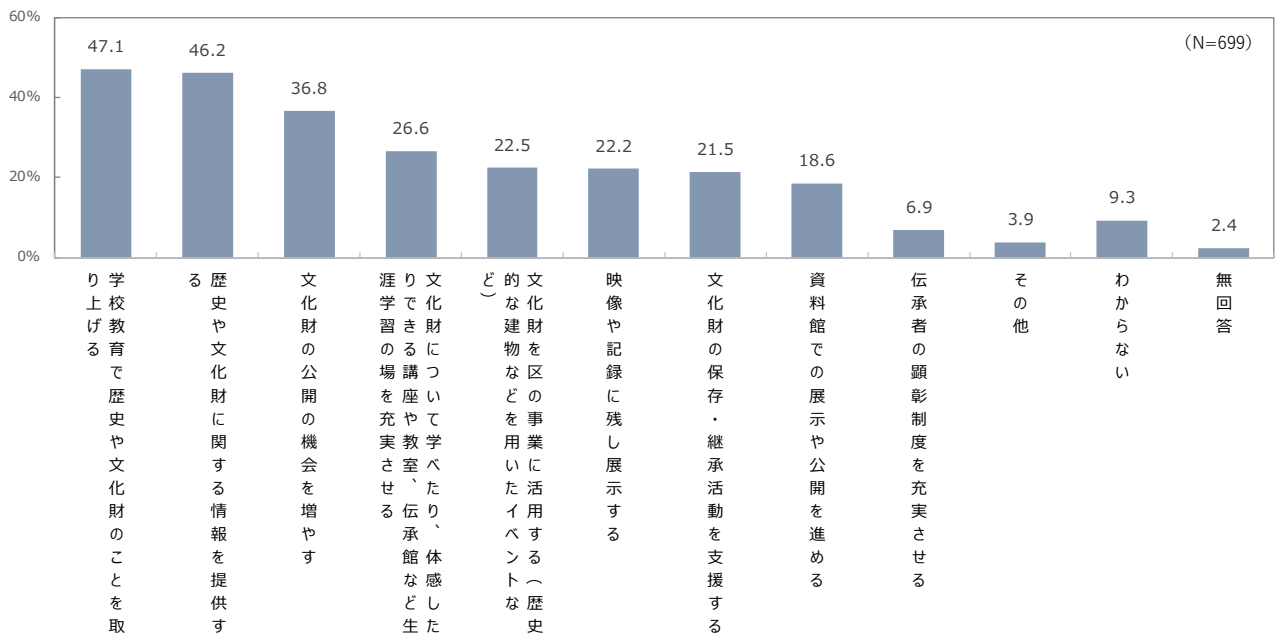
板橋区の文化財の認知度



②保存・継承・周知に必要なもの(区民:問 17)

板橋区の文化財の保存・継承・周知に必要なもので最も多いものは、「学校教育で歴史や文化財のことを取り上げる」(47.1%)、次いで「歴史や文化財に関する情報を提供する」(46.2%)、「文化財の公開の機会を増やす」(36.8%)と続く。

板橋区の文化財の保存・継承・周知に必要なもの

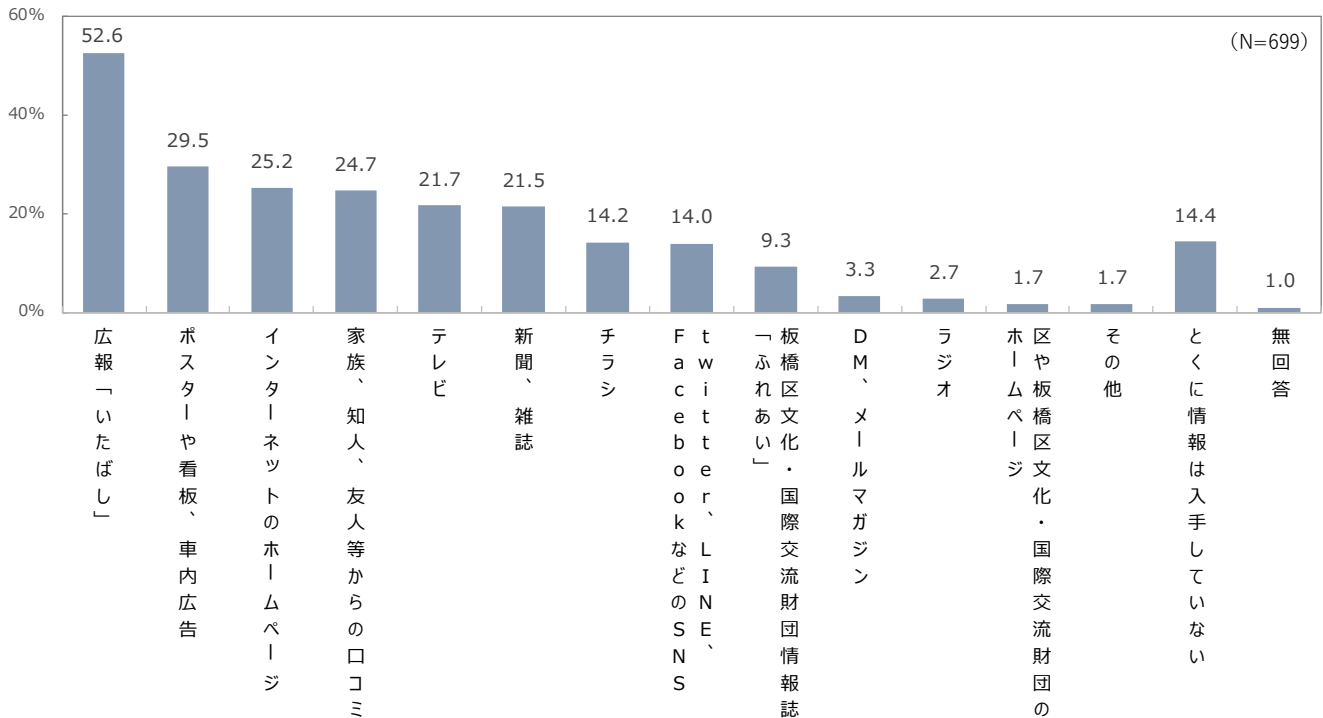


(12)文化芸術に関する情報の入手方法(区民:問 18)

文化芸術に関する情報の入手方法は、「広報『いたばし』」が 52.6%で 5 割を超えており、最も多い。

年齢別にみると、18～39 歳は「twitter、LINE、Facebook などの SNS」の割合が全体よりも 20～30 ポイント高い。30～49 歳は「インターネットのホームページ」の割合が 4 割を超え、全体よりも高くなっている。特に「twitter、LINE、Facebook などの SNS」は年齢が若いほど割合が高くなる傾向がみられる。逆に、60 歳以上は「広報『いたばし』」の割合が 7 割前後(60～69 歳 70.6%、70 歳以上 69.8%)と高くなっている。

文化芸術に関する情報の入手方法

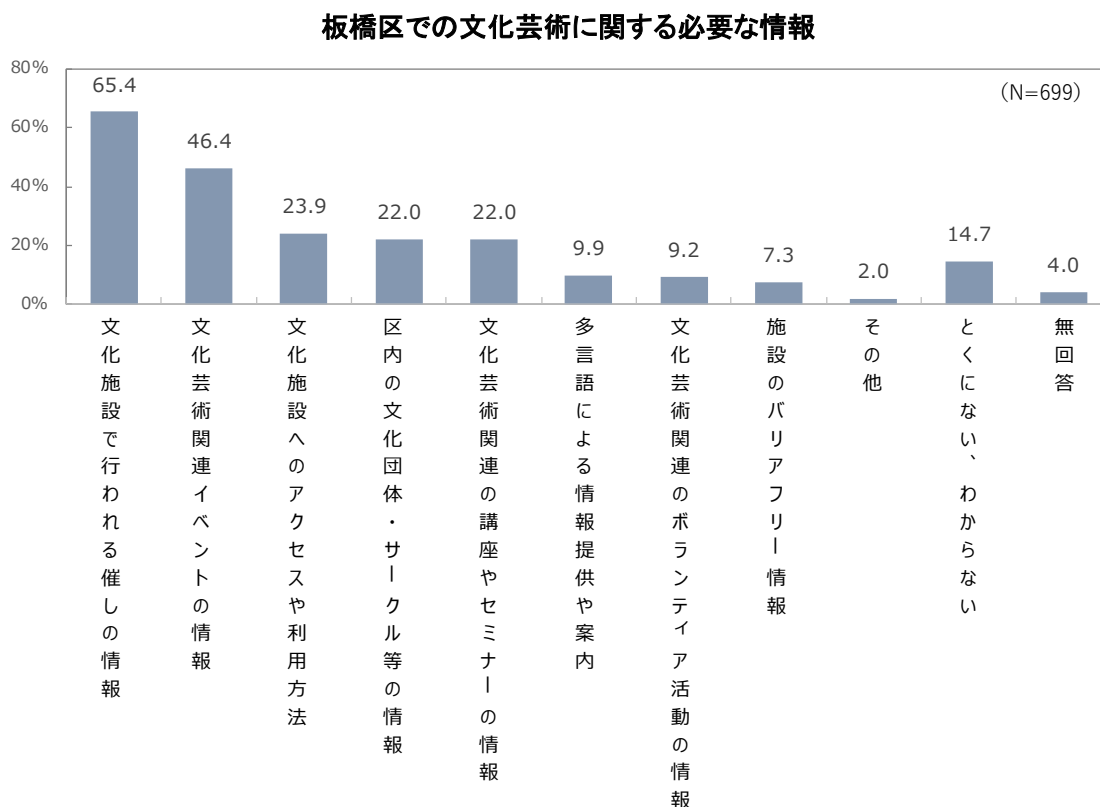


	N=	広報「いたばし」	「ふれあい」板橋区文化・国際交流財団情報誌	区や板橋区文化・国際交流財団のホームページ	チラシ	ポスターや看板、車内広告	テレビ	ラジオ	新聞、雑誌	家族、知人、友人等からの口コミ	インターネットのホームページ	Facebook、Twitter、LINE、SNS	DM、メールマガジン	その他	とくに情報は入手していない	無回答
全体	699	52.6	9.3	1.7	14.2	29.5	21.7	2.7	21.5	24.7	25.2	14.0	3.3	1.7	14.4	1.0
18～29 歳	62	11.3	1.6	1.6	14.5	32.3	21.0	3.2	6.5	27.4	30.6	43.5	3.2	1.6	24.2	1.6
30～39 歳	99	25.3	2.0	1.0	13.1	41.4	19.2	4.0	12.1	32.3	42.4	34.3	4.0	3.0	21.2	1.0
40～49 歳	117	52.1	8.5	5.1	13.7	36.8	25.6	2.6	17.9	21.4	44.4	21.4	6.8	3.4	6.8	0.0
50～59 歳	119	52.9	8.4	1.7	10.9	32.8	25.2	1.7	25.2	21.0	24.4	7.6	3.4	2.5	17.6	0.0
60～69 歳	126	70.6	10.3	0.8	13.5	24.6	15.1	1.6	24.6	23.0	16.7	2.4	3.2	0.0	11.9	0.0
70 歳以上	172	69.8	16.3	0.6	18.0	17.4	23.3	3.5	29.7	25.0	7.6	0.0	0.6	0.6	12.2	2.9

全体より 10 ポイント以上高いもの 全体より 10 ポイント以上低いもの

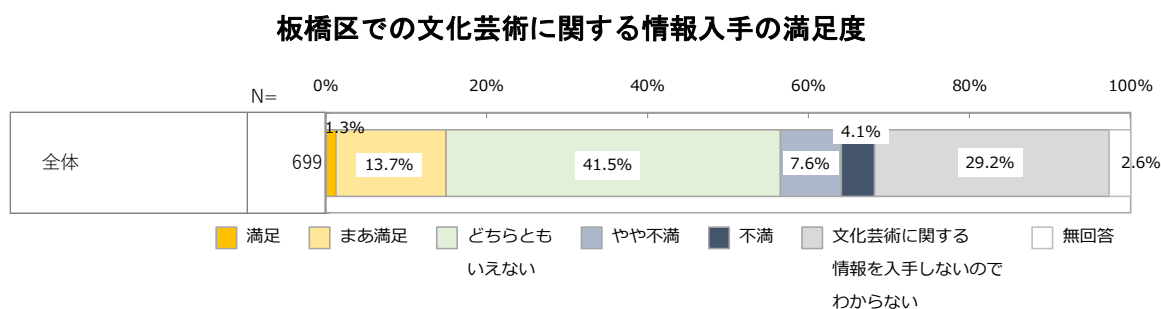
(13)板橋区での文化芸術に関する必要な情報(区民:問 19)

板橋区で文化芸術の鑑賞や参加、あるいは文化芸術活動を行うために必要だと思う情報で最も多いものは「文化施設で行われる催しの情報」(65.4%)、次いで「文化芸術関連イベントの情報」(46.4%)となっている。



(14)板橋区での文化芸術に関する情報入手の満足度(区民:問 20)

板橋区での文化芸術に関する情報入手に満足している人(「満足」と「まあ満足」の合計)は 15.0%、不満を感じている人(「不満」と「やや不満」の合計)は 11.7%である。



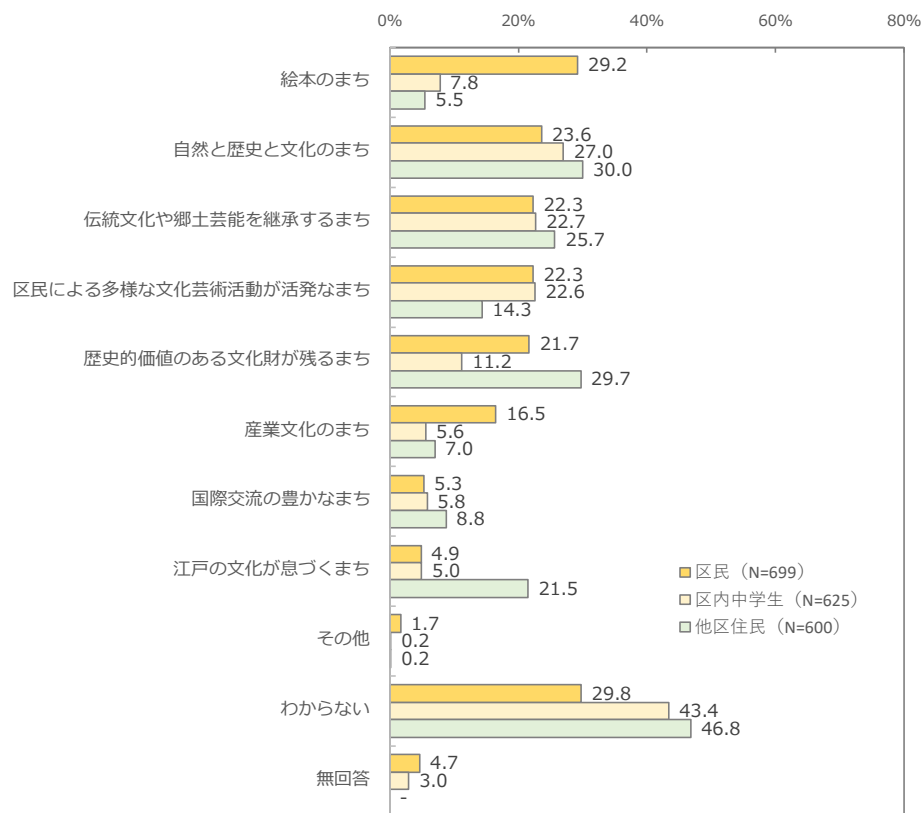
(15)板橋区の文化の特徴(区民:問 21、区内中学生:問 13、他区住民:問 5)

区民は「絵本のまち」(29.2%)が最も多く、以下「自然と歴史と文化のまち」(23.6%)、「伝統文化や郷土芸能を継承するまち」、「区民による多様な文化芸術活動が活発なまち」(ともに 22.3%)と続く。

区内中学生は「自然と歴史と文化のまち」(27.0%)が最も多く、以下「伝統文化や郷土芸能を継承するまち」(22.7%)、「区民による多様な文化芸術活動が活発なまち」(22.6%)と続く。

他区住民が「文化的なまち」として魅力を感じるのは、「自然と歴史と文化のまち」(30.0%)、「歴史的価値のある文化財が残るまち」(29.7%)、「伝統文化や郷土芸能を継承するまち」(25.7%)が上位を占めている。

板橋区の文化の特徴と「文化的なまち」として魅力と感ずるもの

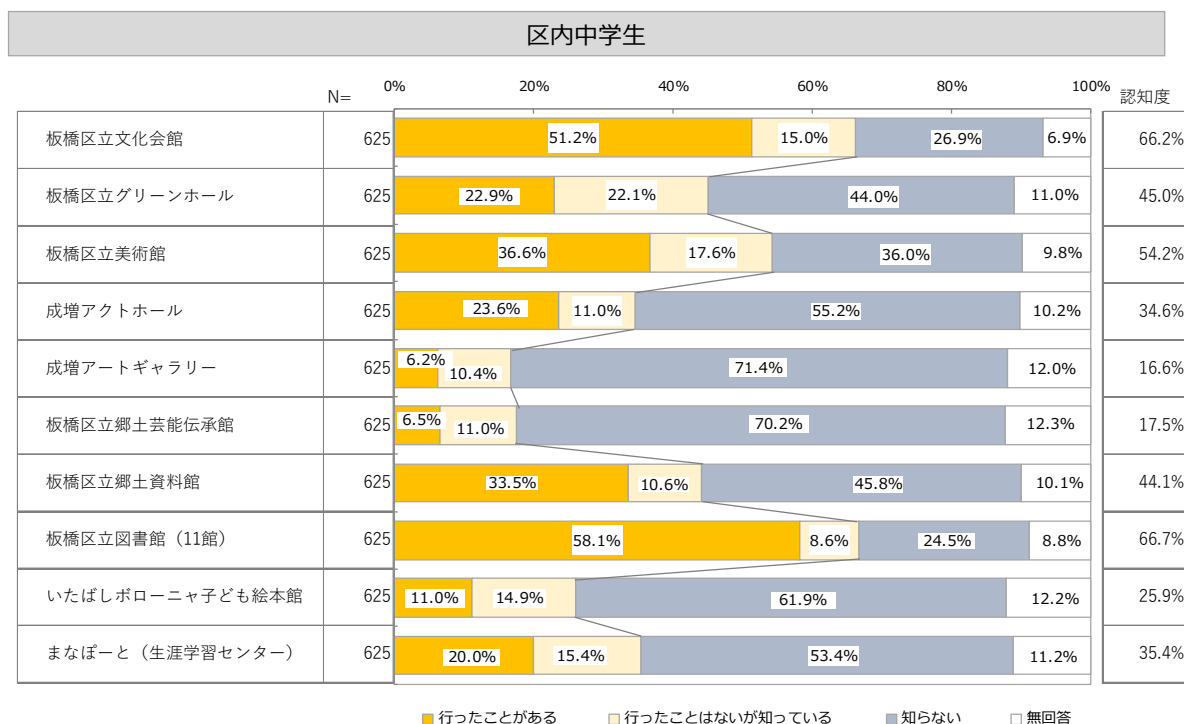
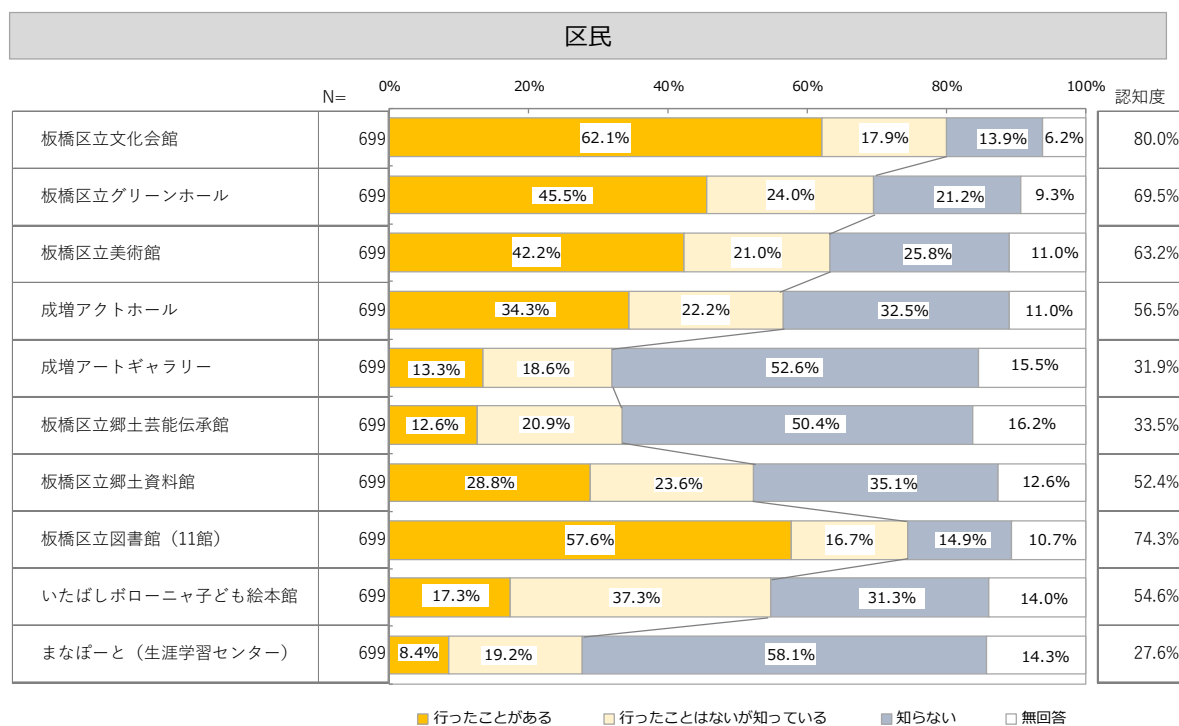


(16)板橋区の文化施設

①訪問経験・認知度(区民:問 22、区内中学生:問 14)

認知度は、区民・区内中学生ともに「板橋区立文化会館」(80.0%、66.2%)、「板橋区グリーンホール」(69.5%、45.0%)、「板橋区立美術館」(63.2%、54.2%)、「板橋区立図書館」(74.3%、66.7%)の認知度が高い。

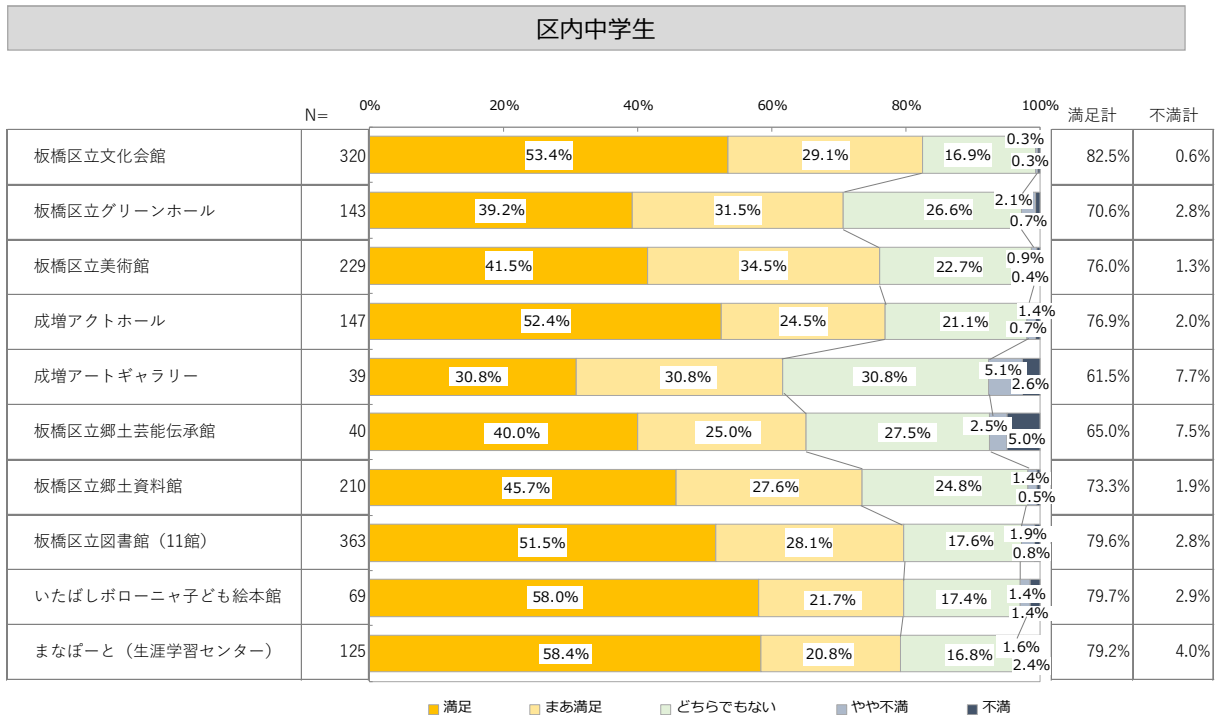
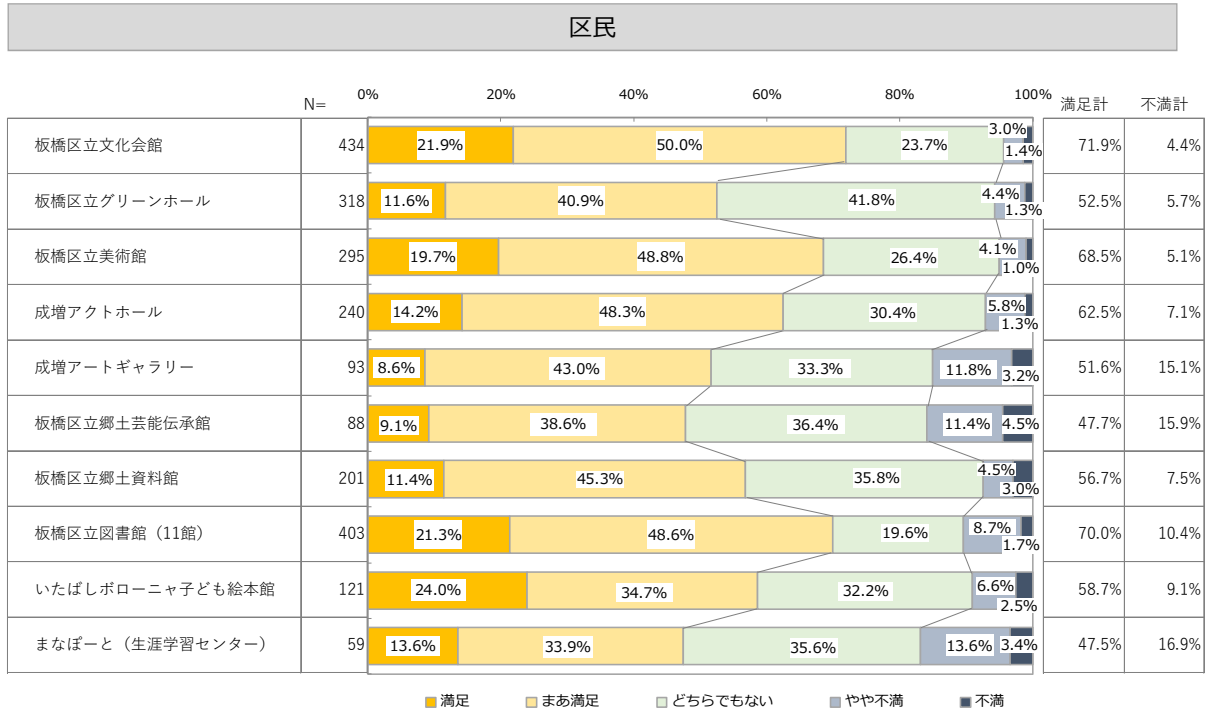
板橋区の文化施設の訪問経験・認知度



②満足度(区民:問 22、区内中学生:問 14)

文化施設に訪れたことのある人の満足度(「満足」と「まあ満足」の合計)と不満度(「不満」と「やや不満」の合計)をみると、区民・区内中学生ともに、どの施設においても満足度のほうが不満度を上回っている。特に、区内中学生の満足度は高く、どの施設についても6割を超えている。施設の中では、板橋区立文化会館の満足度が一番高い(区民71.9%、区内中学生82.5%)。

板橋区の文化施設の満足度

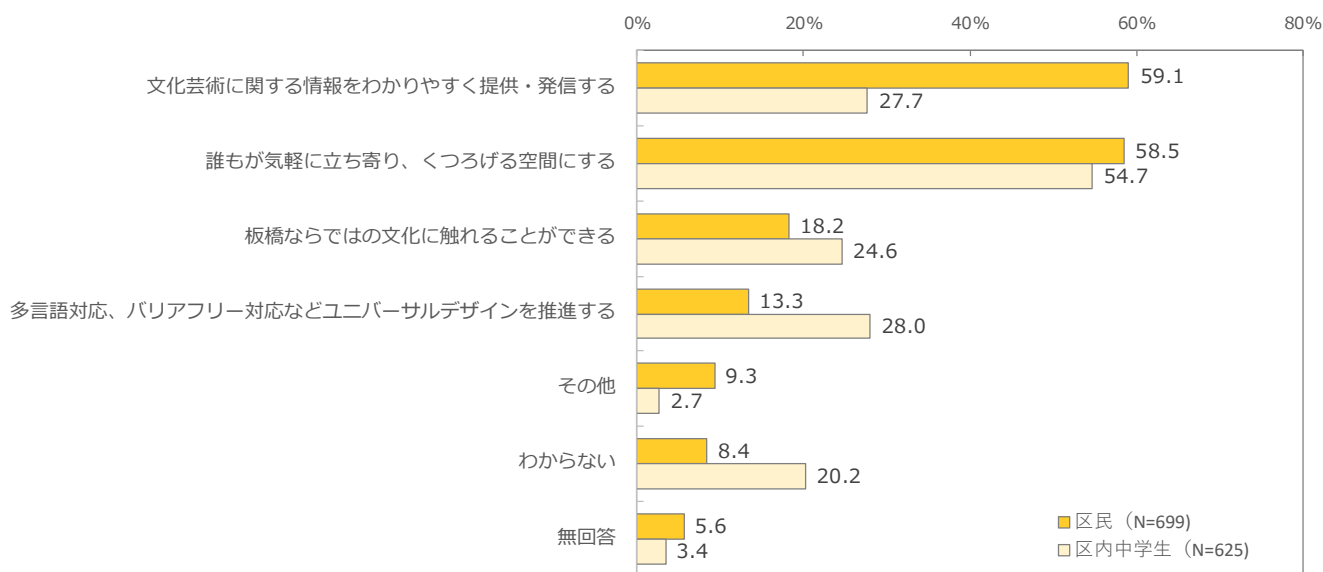


※百分率は小数点以下第二位を四捨五入しているため、構成比の合計値が100%にならないことがある

(17)板橋区の文化施設の利用促進のために重要な取組(区民:問 23、区内中学生:問 15)

区民と区内中学生で板橋区の文化施設が利用されるために重要だと思うことを比べると、区民は「文化芸術に関する情報をわかりやすく提供・発信する」(区民 59.1%)、「誰もが気軽に立ち寄り、くつろげる空間にする」(58.5%)がほぼ同率で、この2つの項目が他の項目と比べて割合が多くなっている。区内中学生は、「誰もが気軽に立ち寄り、くつろげる空間にする」(54.7%)が5割を超えて最も多い。

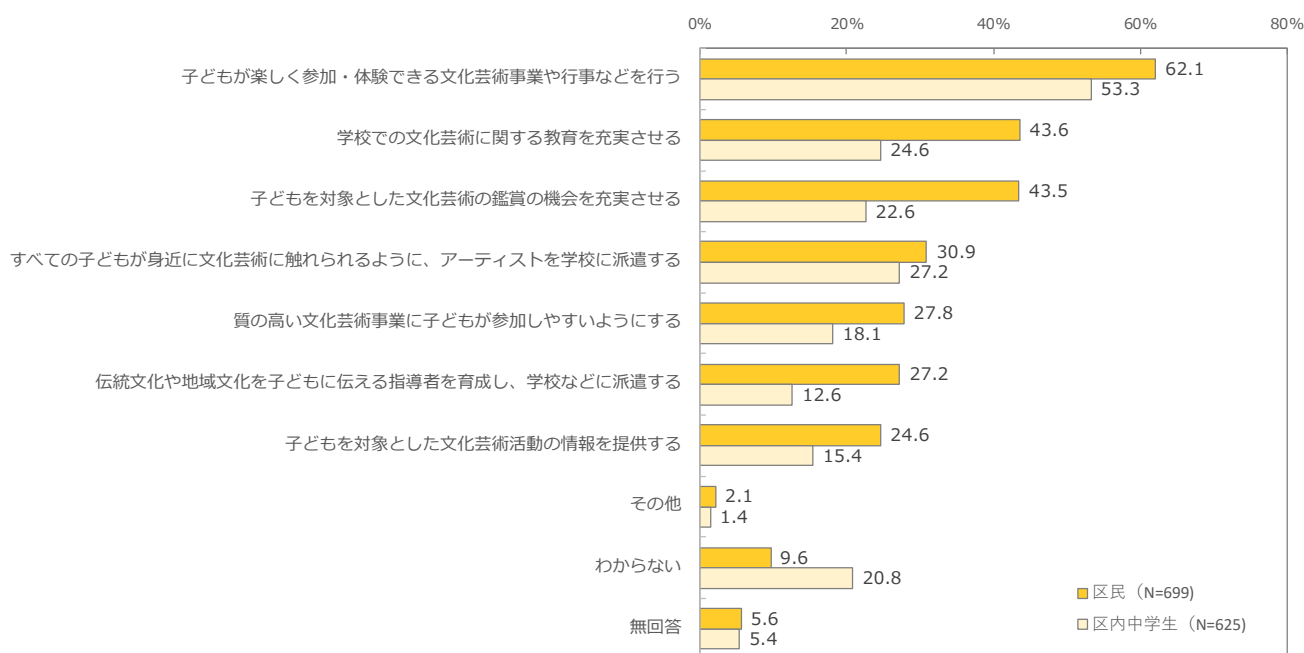
板橋区の文化施設の利用促進のために重要な取組



(18)子どもの文化芸術活動促進に必要な取組(区民:問 24、区内中学生:問 16)

子どもの文化芸術活動促進のために区が取り組むべきものは、区民と区内中学生ともに最も多いのは「子どもが楽しく参加・体験できる文化芸術事業や行事などを行う」(62.1%、53.3%)である。区民は2位が「学校での文化芸術に関する教育を充実させる」(43.6%)、3位が「子どもを対象とした文化芸術の鑑賞の機会を充実させる」(43.5%)であるのに対し、区内中学生は2位が「すべての子どもが身近に文化芸術に触れられるように、アーティストを学校に派遣する」(27.2%)、3位が「学校での文化芸術に関する教育を充実させる」(24.6%)の順番となっている。

子どもの文化芸術活動促進に必要な取組

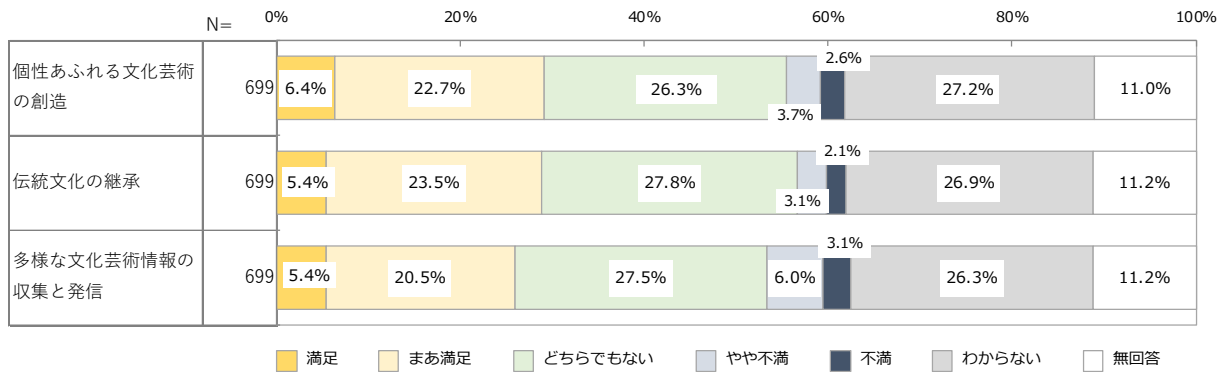


(19)板橋区における文化芸術施策の満足度(区民:問 25)

板橋区における文化芸術施策については、いずれの施策についても満足度(「満足」と「まあ満足」の合計)が不満度(「不満」と「やや不満」の合計)を上回っている。

満足度は、「個性あふれる文化芸術の創造」が29.1%、「伝統文化の継承」が28.9%、「多様な文化芸術情報の収集と発信」が25.9%、一方、不満度はそれぞれ6.3%、5.2%、9.1%といずれも1割未満となっている。

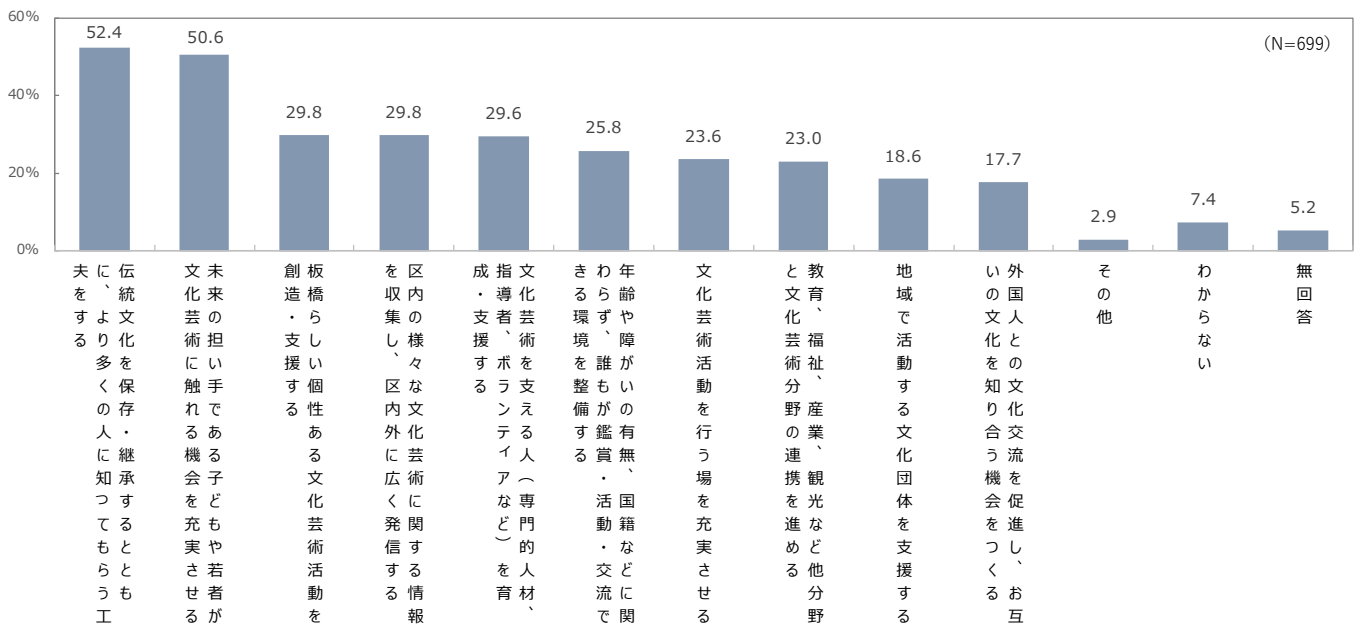
板橋区における文化芸術施策の満足度



(20)板橋区の文化芸術振興のために区が重点的に取り組むべきこと(区民:問 26)

最も多かった回答は「伝統文化を保存・継承するとともに、より多くの人に知ってもらう工夫をする」(52.4%)、僅差で「未来の担い手である子どもや若者が文化芸術に触れる機会を充実させる」(50.6%)が続き、この2つが5割を超えて多くなっている。

板橋区の文化芸術振興のために区が重点的に取り組むべきこと



板橋区文化芸術に関する意識調査報告書 概要版

令和元年 12 月発行

板橋区文化・国際交流課 文化・国際交流係

〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目 66 番 1 号

TEL 03-3579-2018

刊行物番号 31-118